

DOVOCCフェア2023開催!

今年のテーマ「変わっていくけん長崎! 時代を担う土木の魅力」

「土木」の2文字を分解すると「十一」と「十八」になることなどから11月18日が「土木の日」とされています。今、長崎では、100年に1度の変化といわれるまちづくりが進められています。私たちのくらしにかかせない土木の役割や魅力をもっと多くの方に知ってもらうため、「変わっていくけん長崎! 時代を担う土木の魅力」をテーマに、「土木の日」に合わせてさまざまなイベントを行いました。

浜町パネル・模型展

11月12日(日)



パネル展示



VRを体験!



模型を使った実験

長崎市の浜町ベルナード観光通りにて、土木の役割や県内で実施している土木事業をわかりやすく紹介したパネルの展示や模型による実験を行いました。

今回のイベントでは、浦上川の様子をVR(バーチャルリアリティ)で体験できるコーナーや、パソコン上でドローンを飛ばすシミュレーションゲームなど、体験型コーナーもあり、親子で楽しんでいる姿が多く見られました。

土木現場見学会

11月12日(日)



本河内ダム



小浜北有馬線



多比良港

普段は見るできない県内の土木現場等を見学するバスツアーを行いました。長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市から出発する5つのコースにたくさんの方々に参加していただきました。

テクノパワー土木おもしろ体験隊

11月18日(土)



橋をつくってみよう!



雨の計測実験



ミニドローンを操縦

長崎大学文教キャンパスにて、小学生及び中学生を対象に「橋のいろいろ」「雨の計測」「振動実験」「触ってみよう、長崎の水辺の生き物展示」など8つの土木に関する実験やものづくりを体験・学習するイベントを実施しました。また、建設機械の操縦体験や、ミニドローンの飛行体験コーナーもあり、子どもたちに「おもしろ体験」を通じて土木の魅力に触れてもらいました。